

天城湯ヶ島町

地形概況

狩野川上流の山地で、東南部は天城火山地、西部は猫越火山や棚場火山からなる。船原川や持越川等の支流が山地を侵食し、斜面崩壊が多いが、稜線部には緩斜面も残る。本流ぞいには溶岩流出もみられ、谷底には段丘や山麓部の崖錐も発達する。

地質概況

天城火山は安山岩質溶岩を流出させ、湯ヶ島層群をおおっている。八丁池からも安山岩質溶岩が流出した。鉢窪山は側火山である。西部は猫越火山・棚場火山・達磨山火山などの安山岩質溶岩の山地が広く分布する。湯ヶ島層群は緑色凝灰岩が主なものである。

気象概況

年平均降水量は 3,024mm(市山)と県内でも多く、春から夏にかけて全降水量の約 60%が降り、典型的な山岳多雨域の特徴を示している。資料から年平均気温が 15.0℃と推定されるが、天城山周辺は沿岸域より多少気温が低くなっている。

災害事例 地震

- 1978年1月14日(昭和53年)伊豆大島近海地震 M=7.0
この地震で死者5人、負傷者8人、住家一部破損124戸、公共建物2箇所、文教施設5箇所、道路13箇所、河川10箇所、水道116箇所、崖崩れ22箇所などの被害があった。また持越鉢山の鉢滓堆積場のダムが崩壊し、シアン化合物を含む約10万トンの鉢滓が持越川→狩野川→駿河湾に流れ込んだ。
- 1944年12月7日(昭和19年)東南海地震 M=7.9
県中・西部に大きな被害があったが、伊豆半島は比較的軽微で下狩野で震度4程度であった。
- 1934年3月21日(昭和9年)M=5.5
局部的強震で湯ヶ島-天城峠間で崖崩れ10余箇所、湯ヶ島・与市坂で墓石が転倒した。
- 1930年11月26日(昭和5年)北伊豆地震 M=7.3
丹那断層を生じ伊豆北部を中心に大きな被害があった。中狩野村佐野東方奥野山南斜面で山崩れ(佐野山津波)が起こり、幅員約2町、狩野川を越え、その河原で南北に広がり幅員約10町になった。この山津波の厚さは約20尺、3戸の民家を埋没し、約15人の死者が出た。中狩野村の被害は、死者15人、負傷者4人、住家全潰72戸、半潰166戸、上狩野村は負傷者7人、半壊15戸であった。
- 1891年10月28日(明治24年)濃尾地震 M=8.0
吉奈・湯ヶ島の温泉は、地震後平常より15~16℃温度が高くなった。
- 1854年12月23日(安政元年)安政東海地震 M=8.4
県下全体に大きな被害があった。湯ヶ島では震度5であった。

災害事例 台風

- 1979年10月19日(昭和54年)台風20号
全県下に被害が出た。最大時間雨量は49mm(19日11時)に達した。
- 1958年9月26日(昭和33年)狩野川(22号)台風
伊豆半島一帯で被害甚大で死者・行方不明1,000人以上に及んだ。湯ヶ島で最大日雨量は26日691mmで、被害は中狩野で負傷者2人、全壊15戸、半壊33戸、流失1戸、床上浸水64戸、床下浸水22戸、流埋田畑27ha、上狩野で死者5人、負傷者7人、行方不明4人、全壊32戸、半壊54戸、流失52戸、床上浸水33戸、床下浸水167戸、流埋田畑77haである。
- 1949年9月1日(昭和24年)キティ台風
県中部以東で被害大、上狩野の日雨量326mmの豪雨であった。
- 1948年9月16日(昭和23年)アイオン台風
全県下とくに中部以東で被害が大きかった。湯ヶ島で日雨量546mmに達し、土砂・山・崖崩れ、洪水、堤防・橋決壊、家屋への浸水、田畑の冠水などの被害が出た。
- 1941年7月22日(昭和16年)
県中部以東で被害があったが、湯ヶ島22日日雨量449mmに達し、狩野川流域で被害が特に大きかった。
- 1938年6月29日(昭和13年)
県中・東部、伊豆地方で豪雨。6月28日~7月5日、8日間の雨量は上狩野で415mmに達し被害甚大であった。この年洪水が5回もあった。
- 1924年9月16日(大正13年)
伊豆半島暴風雨。石廊崎で最大風速50.4m/s、湯ヶ島の雨量330mm(15~16日)に達した。
- 1922年8月23日(大正11年)
石廊崎で風速43.0m/s。上狩野の日雨量、23日362mm、25日238mmに達した。
- 1920年9月30日(大正9年)
石廊崎で風速24.3m/s、上狩野の日雨量、28日53mm、29日42mm、30日285mmに達した。このため狩野川増水氾濫し、農作物被害が多かった。
- 1914年8月29日(大正3年)
上狩野で29日日雨量374mmに達する暴風雨、狩野川が増水した。
- 1914年8月12日(大正3年)
12~13日暴風雨で湯ヶ島の雨量は12日午後~13日で354mmに達した。そのため狩野川は肥田で平水位より5.5m増水し、三島町でも路上で1.5m溢れた。
- 1907年8月24日(明治40年)
東部地方に豪雨があり、湯ヶ島23~25日の総雨量913mmに及んだ。
- 1781年8月21日(天明元年)
大風雨で潰れた家屋およそ1,300戸に達した。

- 1759年8月7日（宝暦9年）
大洪水で多くの方が死んだと伝えられる。
- 1751年7月19日（宝暦元年）未の荒水
大雨洪水があり、山崩れ・人畜災害など甚大であった。
- 1671年9月29日（寛文11年）亥の満水
大洪水があり、山崩れが各所に起こり被害が甚だしかった。

災害事例 旱魃

- 1926（大正15年）
県下全般に旱魃で農作物に大被害があった。天城湯ヶ島町上狩野で8日の雨量は63mm、平年より561mmも少なかった。
- 1770（明和7年）
大旱害あり。

災害事例 冷害

- 1825（文政8年）
夏中冷害のため大凶作となり、狩野・大見の村々皆無の所多し、と伝えられている。